※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | T3010 |
|---|---|

# 令和５年度　理科

| 教科 | 理科 | 科目 | 生物基礎 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次選択 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高等学校　生物基礎　（啓林館） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地球には様々な生物が存在し、その生命の営みは非常に巧妙で、地球上に初めて生物が誕生して以来現在まで脈々と引き継がれています。そのような不思議な生物に関心を高め、生物学の基本的な概念や原理・法則を学習します。

## ２　学習の到達目標

・生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させる。
・生物学的事象についての疑問を持ち、それに対して仮説を立て、実験や観察を行い、結果について考察するというプロセスを踏むことができる。
・学んだ内容に関連するような内容を自主的に調べ、他者と協働しながら探求活動が行える。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 | 自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 | 自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 生物の特徴と遺伝子 | 生物の共通性<br>細胞とエネルギー<br>遺伝情報とＤＮＡ<br>遺伝情報の分配<br>遺伝情報とタンパク質の合成 | a：エネルギー代謝と、タンパク質合成の仕組を理解している。<br>b:細胞分裂で、遺伝情報の同一性が保たれていることを理解している。<br>c：生物の多様性と共通性に関心を持ち、探究しようとする。 | 授業で行った内容や実験・観察の手順等について正しく理解しており、定期考査の問題に正しく解答することができるかどうかで評価する。 | 投げかけた開けた問いに対して科学の法則等を基に、自分なりの解答を導きだすことができるかどうか、実験・観察において予測を立てたり、結果から自分なりの考察を導き出したりすることができるかどうか、定期考査の記述式問題について正しく解答することができるかどうかで評価する。 | 授業を受けている際の態度、授業プリントへの記入状況、実験・観察への取り組みにて評価する。 |
| 2学期 | 生物の体内環境の維持 | 体内環境と恒常性<br>体内環境の維持の仕組<br>免疫 | a：自律神経やホルモンに関する知識を身に付け、その重要性を理解している。<br>b：体内環境を保つ仕組を考察できる。<br>c：体内環境について関心をもち、意欲的に探究しようとする。 | 授業で行った内容や実験・観察の手順等について正しく理解しており、定期考査の問題に正しく解答することができるかどうかで評価する。 | 投げかけた開けた問いに対して科学の法則等を基に、自分なりの解答を導きだすことができるかどうか、実験・観察において予測を立てたり、結果から自分なりの考察を導き出したりすることができるかどうか、定期考査の記述式問題について正しく解答することができるかどうかで評価する。 | 授業を受けている際の態度、授業プリントへの記入状況、実験・観察への取り組みにて評価する。 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 生物の多様性と生態系 | 植生と多様性の分布<br>生態系とその保全 | a: 気候とバイオームについての知識を身につけ、生態系の保全の重要性を理解している。<br>b:生物の多様性と生態系について考察できる。<br>c: 気候とバイオーム、生態系のバランスについて関心をもち、意欲的に探究しようとする。 | 授業で行った内容や実験・観察の手順等について正しく理解しており、定期考査の問題に正しく解答することができるかどうかで評価する。 | 投げかけた開けた問いに対して科学の法則等を基に、自分なりの解答を導きだすことができるかどうか、実験・観察において予測を立てたり、結果から自分なりの考察を導き出したりすることができるかどうか、定期考査の記述式問題について正しく解答することができるかどうかで評価する。 | 授業を受けている際の態度、授業プリントへの記入状況、実験・観察への取り組みにて評価する。 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度